

1. 件 名：日本原子力研究開発機構新型転換炉原型炉ふげん及び高速増殖  
原型炉もんじゅの平常時の周辺住民への情報提供について

2. 日 時：令和3年9月21日 13:30～13:57

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

宮地防災専門官、和田防災専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

敦賀廃止措置実証本部安全・品質保証室 技術主幹他7名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構から、新型転換炉原型炉ふげん及び高速増殖  
原型炉もんじゅの「原子力事業者防災業務計画の確認に係る視点等につ  
いて」に基づき、平常時の周辺住民への情報提供について実施状況について  
説明があった。

内容は、原子力事業者防災業務計画に定めている、①原子力事業所の概  
要、②原子力災害の概要、③原子力災害対策の実施状況、④緊急事態区分  
の考え方について、周辺住民への情報提供を以下のとおり実施したとの  
ことであった(資料1)。

- ・ 出前研修による情報提供
- ・ 出前説明会による情報提供
- ・ 広報誌による情報提供
- ・ ホームページ掲載による情報提供

原子力規制庁から、コロナ感染が沈静化した際は、原子力災害対策の実  
施状況について、幅広く広報活動を実施頂きたい旨を伝えた。

日本原子力研究開発機構は前向きに検討するとのことであった。

6. その他

配布資料

資料1：「周辺住民に対する平常時の広報活動」に係る取り組み事例につ  
いて